

米 NRC、海洋研究課題 32 項目をまとめた報告書を発表（4 月 25 日）

米国アカデミー（National Academies）の政策調査機関である米国学術研究会議（National Research Council : NRC）は 25 日、海洋研究において、2030 年に重要となる 32 項目の研究課題と、これらの研究を今後 20 年間に亘り実施するにあたり必要となる重要インフラに関する報告書「2030 年の海洋研究及び社会のニーズに関する重要インフラ（Critical Infrastructure for Ocean Research and Societal Needs in 2030）」を発表した。本報告書では、原油流出や海上における産業災害の予測やその防止、地球工学が海洋に及ぼす影響、そして津波に関する理解や予測の改善などといった調査が必要であるとの内容がまとめられている。

（参考）

National Academies Press Website, *Critical Infrastructure for Ocean Research and Societal Needs in 2030*

http://www.nap.edu/catalog.php?record_id=13081

（日本学術振興会 ワシントン研究連絡センター）